

令和7年9月15日

「第46回神大ラリー」の開催について

令和7年9月13日、14日の2日間にわたり、豊岡市及び香美町において、「第46回神大ラリー」が神戸大学体育会自動車部の主催で開催されました。

ラリーは豊岡市日高町の奥神鍋体育館をスタートし、広域基幹林道三川線（兵庫県朝来農林事務所管理）、林道奥山床瀬線（豊岡市管理）の2コースでの約34kmのタイムトライアルを含む、総走行距離160kmのコースで実施されました。本大会は、JAF公認自動車競技 中部・近畿のシリーズ戦であることより、東は愛知県、北は石川県、南は和歌山県といった広範囲から JAF ライセンスを持つ中上級者が参加します。シリーズ最終戦ということもあり、44台ものエントリーがありました。



スタートの様子

大会当日は朝から雨が降っており、濡れた路面に一部区間では霧が発生するなど悪条件が重なりましたが、競技者の熟練した技術により事故トラブル等はありませんでした。

広域基幹林道三川線を使用するスペシャルステージはタイムトライアル

区間が12kmを超えるシリーズ屈指のロングコースで、高い集中力を要し、技量差が結果に出る走り応えのあるコースとして高い評価をいただいております。大会前にコースを管理している兵庫県朝来農林事務所様がコース整備にご尽力くださったことで、さらにエントラントは気持ちよくこのコースを堪能できました。

また、本ラリーでは上位入賞者への賞品として、但馬牛カレー、神鍋フィナンシェなどの地域の特産品を贈呈しています。そして、44台のエントラント及び各車両のサービススタッフ、開催者のオフィシャル等の延べ200名以上が観光協会幹



サービス会場風景

旋の地元ペンション等に宿泊し、各宿自慢の料理を堪能させていただきました。競技者は、神鍋高原の自然豊かな人々のくらしに触れ、香美町三川線から雄大な景色を眺めるなど、観光地としての魅力も満喫できた二日間となりました。このように「神大ラリー」は、地元と密着した開催が評価され、地域に定着してまいりました。

最後となりましたが「第46回神大ラリー」開催にあたり、兵庫県朝来農林事務所、豊岡市役所、香美町役場、豊岡警察署、美方警察署をはじめとした関係機関及び地域住民の皆様にご多大なるご理解・ご協力を賜りましたことに篤く感謝申し上げます。

